

## 「思いやりの心」

豊橋市立南部中学校 二年

### 鈴木 花菜

私には、目の見えない大きいおばあちゃんがいます。

私が保育園のころくらいときから、目の病気である、緑内障を発症してしまいました。緑内障とは、目からの情報を脳に伝える神経視神経や、視野に異常が起こる病気のことです。

緑内障のしようじょうとしては、初期は症状がなく、気づかないことが一般的です。病気が進行してしまうと、視界がせまくなってしまったり、異常が出たりしていきます。重症になってしまえば失明してしまうばあいがあります。

おばあちゃんは緑内障を直すために、横浜の大きな病院で手術をしました。

その後は少しの間、普通の生活をしていました。ですが、数年後にはまた目が見えにくくなってしまい、また、手術をうけなければいけませんでした。

手術をしておえたあと、おばあちゃんは、視力が、回復したので、少しでもたくさんきれいなものや景色を見せてあげたいとおもって、お花を買って、見せてあげたり、少し遠くのところへ行ってみて、いろいろな景色を見たりしました。おばあちゃんも楽しそうでもよかったですと思いました。

でも、目が見えるのもそう長くはつづかず、少しずつ視力が落ちていってしまい、今ではほとんど目が見えなくなってしまいました。おばあちゃんは、目が見えなくなっても、一人で生活していて、私もお母さんといっしょに、たまにおばあちゃんの家について、そうじをしたり、料理を手伝ったりしていました。また、たまにヘルパーさんがいるときは協力して、おばあちゃんを外へつれだして、少しのあいだお散歩をしたり、遊んだりしていました。おばあちゃんも一人暮らしは大変だけどがんばっていました。

けど、3年前私が小学5年生のときのある日おばあちゃんは、家で歩いているときに、家の中で倒れてしまい、救急車ではこばれてしまいました。病院で検査をしたところ結果は、大腿骨を骨折してしまっていて、歩くこともできなくなっていました。

それから、おばあちゃんは、施設に入ってしまった。コロナかだったので入ってすぐに会いに行くことが難しいじょうきょうになってしまいました。

コロナが少しおさまったときに、久しぶりにおばあちゃんに会いに行ったら、すぐくよろこんでくれ

てうれしかったです。そのときの私は、小学6年生でおばあちゃんに修学旅行のおみやげをあげて、それもとよろこんでくれてよかったと思いました。今はコロナが少しずつおさまって1カ月に1度いけるかいけないかわからないけど、おばあちゃんのおみまいに行ける回数もだんだんと増えていっています。

私は、目も見えて、歩いてどこかへ行けることもでき、障がいはないけど、健康な人間であるので、障がいのある人達が少しでも生きやすくなるために、自分でできることを探し、役に立てるようにがんばりたいと思います。